

平成22年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	休耕地を大豆畑にしよう
事業主体 (連絡先)	飯田下伊那で大豆をつくる会 代表 平岩廣美 電話0265-25-2191
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト&ハード
総事業費	905,000円 (うち支援金: 660,000円)

事業内容

- ・休耕地を耕作農地に転換(耕起等)作業
 - ・土壌分析(EC・PH等)で肥料投入量の確認作業
 - ・種まき前と収穫後の耕作地の耕起作業
 - ・選粒機による選粒作業
 - ・収穫後の水分測定作業
- ◎本年度の大豆選粒作業実績
- ・飯田市 18件 3,800kg
 - ・高森町 2件 800kg
 - ・根羽村 1件 330kg



【大豆播種作業風景】

自己評価(事業実施率)【A】

事業効果

- ・休耕地の耕作面積増加(H21より80a増加)
 - ・土壌分析により、耕作地の地力増加
 - ・種まき時期の耕起作業増加
 - ・収穫後の水分測定の乾燥(自然乾燥)度合いの安定
 - ・選粒機による選粒作業の簡素化と品質の向上
- ◎今回導入した選粒機は地域にあるものと同型ですが、実需者の要望にあった篩い板を使っているため、販売単価が上がり、農家の所得アップにつながりました。

【目標・ねらい】

- 休耕地の耕作面積増大
- 多年にわたる作物安定収入
- 耕起作業の管理と簡略化
- 収穫物の品質向上

自己評価(目標達成率)【A】

今後の取り組み

農家の高齢化により、休耕地の増加、畑の管理作業などができない農家が増え続けています。この問題解決のために、休耕地の大豆栽培は引き続き実施していきませんが、さらにそば栽培もメニューに加え、農家の「やる気」をサポートしていきます。また、農村景観の向上という面でも遊休地の解消を進めていきます。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。